



Topic 1 20周年記念誌を作成しました！



▲表紙には、本会の目指す「青く澄んだ空」と「スマートな暮らし」が表現されています。

平成10年に設立した「小田原市低公害車普及促進会議」は、平成24年に「おだわらスマートシティプロジェクト」として生まれ変わり、“青く澄んだ空をこどもたちにバトンタッチしよう”を合言葉に活動してきました。

平成30年に活動を始めて20年を迎えたことを記念して、20周年記念誌を作成しました。

出前講座やイベントの際に配布するなどして、本会のPRと“スマートな暮らし”の普及に活用しています。

☞20周年記念誌は、小田原市公式サイトで見ることができます。

Topic 2 「おだわらSDGsパートナー」に登録されました！

小田原市が実施している、SDGsに関する取組を展開している企業や団体などをパートナーとして登録する「おだわらSDGsパートナー制度」に、本会が登録されました。

共に考え、行動することによって、SDGsの目標達成・持続可能なまちづくりの実現を目指す取組です。

令和2年2月に本会の登録が認められ、今後は、市の普及啓発事業に参画するなど、より一層、活動を推進していきます。



◆発行日 令和2年3月31日
 ◆発行者 おだわらスマートシティプロジェクト 会長 西山敏樹 (事務局 小田原市 環境政策課)
 ◆電話 0465-33-1472 ◆FAX 0465-33-1487 ◆E-mail ka-kansei@city.odawara.kanagawa.jp

特集1 通常総会と勉強会



令和元年5月20日（月）に、令和元年度おだわらスマートシティプロジェクト通常総会を開催しました。

平成30年度の事業報告と収支決算が承認されるとともに、新たな元号で迎える一年間の事業計画についても承認されました。

また、年に数回発行している会員あてのお知らせをできるだけ郵送から電子メールに移行していくなど、環境分野で活動する会として、ふだんの活動自体も省エネ化していくよう会長から方針が示されました。



総会後の勉強会では、株式会社REXEV（レクシヴ）の代表取締役社長 渡部 健氏を講師に迎え、「**小田原でのEVカーシェアリングの実施、脱炭素型地域交通モデルの構築について**」をテーマにご講義いただきました。

“低公害車の普及促進”から始まった本会ですが、20年の活動を経て、一般的になりつつある電気自動車と再生可能エネルギーの利用、それをシェアして快適に過ごす暮らしという、社会の変化を肌で感じられる内容でした。

特集2 おだわらスマートシティフェア

令和元年11月9日（土）、晴天のダイナシティウエストで第8回おだわらスマートシティフェアを開催しました。

今回は恒例の内容に加えて「自動ブレーキ体験」や「パーソナルモビリティILY-Aiのデモ試乗」などの新たな体験コーナーを設置したほか、ステージでは、冷蔵庫収納家・福田かずみ氏による実践講座「食ロスを減らす“美人冷蔵庫LIFE”」や、SDGsを楽しく学ぶ「SDGsとみんなの暮らし」などを実施。一日を通して幅広い年齢層に楽しんでもらえる内容になりました。



▲ エコカーの展示・試乗



▲ パーソナルモビリティILY-Aiデモ試乗



▲ 高校生によるワークショップ



▲ 冷蔵庫収納家・福田かずみ氏の実践講座



▲ SDGsを楽しく学ぶステージ



▲ 華やかなゴスペルコンサートで閉会

特集3 公開講座&出前講座

新たな取組として、本会のネットワークを生かし、各分野の第一人者を講師に招いて、最先端の情報や身近な学びを得ることを目的に、一般の皆さんも広く参加できる**公開講座**を実施しました。
また、小学校などからの要望に応じて講師の派遣を行う**出前講座**を今年度も実施しました。

公開講座

●第1回「電気自動車とハイブリッド自動車の将来」



講師に**プリウスの生みの親・佐々木正一氏**を迎え、ハイブリッド車・電気自動車の技術的革新を知り、我々の生活シーンがどのように変化していくかを共に学び、“スマートシティ 小田原”のあるべき姿を考えました。

さまざまな視点からの質問にもお答えいただき、大変学びのある時間となりました。

日時 令和元年10月25日（金）18：00～19：00
参加人数 43人
場所 小田原ガス(株)本社 大ホール

●第2回「小田急グループが取り組むMaaSを知る」



第2回は、講師に**小田急電鉄 次世代モビリティチーム**から**大橋健次氏**を迎え、「**Mobility as a Service**」について学びました。

電車やバスといった公共交通をマイカー以外の移動手段として積極的に選択すると、スマートな暮らしにつながります。個々の移動手段を連携させて継ぎ目のない一括したサービスとして提供を試みている小田急グループの取組について、最新の情報をお話しいただきました。

日時 令和2年1月20日（月）18：00～19：00
参加人数 41人
場所 おだわら市民交流センターUMECO

出前講座＜小田原市立三の丸小学校＞



放課後の時間を使ってさまざまな活動をする放課後子ども教室において、「目に見えないエネルギーや環境について考えてみよう」と題し、環境について考える講座を実施しました。

ホッキョクグマが直面する温暖化の状況を動画で見た後、省エネランプを使って自分ができる地球温暖化対策を考えました。

日時 令和2年2月18日（火）放課後
参加人数 約40人
講師 松葉口玲子氏（本会会員、横浜国立大学教授）

特集4 絵画・ポスターコンクール



県西地域2市8町に在住・在学する小・中学生を対象とした絵画・ポスターコンクールを今年も開催しました。テーマは、「COOL CHOICE」などによってエネルギーが賢く使われ、地球にやさしい生活が送られる「地球にやさしいまち」です。小学生の部56点、中学生の部104点、合計160点の応募の中から、特に素晴らしい26点が入賞、4点が佳作に選ばれました。



☞ 全ての入選作品は小田原市公式サイトで見ることができます。

小学生の部



おだわらスマートシティプロジェクト会長賞
国府津小学校 4年 掘越すみれさん



小田原市長賞
函嶺白百合小学校 5年 松本陽菜さん

中学生の部



おだわらスマートシティプロジェクト会長賞
城南中学校 2年 古川朱嶺さん



小田原市長賞
城南中学校 1年 廣川直嗣さん

特集5 会員交流会



令和2年2月28日(金)に、清水建設(株)技術研究所へ市外視察を行いました。

清水建設は「子どもたちに誇れるしごとを。」を理念に掲げており、本会とも共通するマインドがあります。

最先端の技術実証の現場から建設の歴史まで、常にトップランナーとしてこの分野をけん引してきた清水建設の技術の素晴らしさを体感することができました。

特に、1964年の東京オリンピックで使用された国立代々木競技場建設当時の映像では、独特なデザインの形状をそれまでなかった技法を編み出して施行する貴重な様子を見せていただきました。

会員一覧 (令和2年3月1日時点 敬称略、順不同)

- 愛光電気 株式会社
- 相原興業 株式会社
- 株式会社 小田原衛生美化サービス
- 小田原ガス 株式会社
- 株式会社 小田原ジムキ
- 小田原箱根商工会議所
- 株式会社 小田原百貨店
- 神奈川県タクシー協会 小田原支部
- かながわ西湘農業協同組合
- 神奈川トヨタ自動車 株式会社 小田原店
- 共同冷蔵 株式会社
- クミアイ化学工業 株式会社 小田原事業所
- さがみ信用金庫
- 相模洋洗 株式会社
- 新陽冷熱工業 株式会社
- 株式会社 鈴廣蒲鉾本店
- 相洋産業 株式会社
- 第一三共ケミカルファーマ 株式会社 小田原工場
- 株式会社 大相
- 株式会社 ガイドーフォワード
- 有限会社 谷和

- 東海気熱 株式会社
- 株式会社 東海ビルメンテナンス
- 株式会社 菜の花
- 日産自動車 株式会社
- 富士急湘南バス 株式会社
- 株式会社 ファーレン小田原
- 株式会社 ミクニ
- 株式会社 GSユアサ
- 株式会社 常盤製作所
- 株式会社 カトー
- 南開工業 株式会社
- 株式会社 ニッショー
- 株式会社 二見
- 司建設株式会社
- ヒューマンズ・ネット株式会社
- 関東三菱自動車販売株式会社
- 株式会社 小田原魚市場
- ほうとくエネルギー株式会社
- レモンガス株式会社
- 積水ハウス株式会社湘南支店
- 株式会社 T-FORESTRY

- 松浦建設 株式会社
- 株式会社 エスアールシー
- 譲原建設 株式会社
- 一般社団法人 小田原市電設協会の会
- 有限会社 小田原ドライビングスクール
- 株式会社 ブレイン・スタッフ
- 岩谷産業 株式会社
- 株式会社 古川
- 有限会社 スドウ工営
- みのさんファーム
- 湘南電力 株式会社
- 箱根登山バス 株式会社
- 株式会社 REXEV
- 石川 芳雄
- 太田 正孝
- 片山 勝
- 清水 充世
- 永井 隆一
- 野津 敏子
- 古屋 稔彦
- 八木 武人
- 山田 建夫
- 山本 晴史
- 額 清徳
- 西山 敏樹
- 西山 里利
- 清海 哲男
- 香川 興勝
- 津端 宏嘉

- 神戸 さえ
- 三嶽 知美
- 松葉口 玲子
- 飯田 智夏
- 向 正孝
- 向 ますみ